事例No.	2546
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	長野県木島平村

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・人材確保・育成 ・地域運営組織

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

長野県木島平村

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

優　秀　賞

長野県木島平村

概　　要



「農村文明の創生」という新たな取り組みについて、有識者顧問による会議を開き、農村文明の在り方などを常に検証。村民の「暮らしと生業」に自信と誇りを持つために、講演会などが中心のオープンカレッジや村に伝わる文化や伝統技術を学ぶ実践講座などを行う農村学講座、村民自らの趣味や技を活かし、興味や関心がある事柄について研究し、地域づくりにかかわる村民研究員制度、大学の知の力を地域づくりや行政施策に生かすために大学との協定締結を進めている。

特に首都圏や地方の大学生が集まって農村を体感し集落づくりに参加する「農村版大学コンソーシアム」を開催しており、今後は、小規模自治体の職員のネットワークを構築する「行政コンソーシアム」、グローバルな企業人に世界に誇る日本の農村文化を学ぶ機会を提供する「企業コンソーシアム」の開催を予定。さらには、数少なくなった「村」の状況をかんがみて、全国の村長が集う全国村長サミットを開催し村長のネットワークづくりに取り組んでいる。

これらの事業「農村文明の創生」を進めるための組織として「農村文明塾」を設立し、村民と地域行政（木島平村・国・県）、民間企業から支えられる組織を目指している。

評価された点



・まだまだこれからであるが村の挑戦に期待したい。
・この取り組みによって新たな発展が期待出来る。また、新幹線が開通するタイミングでもあるので良いチャンス。
・農村文化を守り、誇りをもつために、住民自ら学び活動すること、都市住民との交流などのソフト事業を積極的にすすめている。農村文化を資源として展開していくことは、これからの農村地域の範となるべき取り組み。
・「農村文明」を地域・学・行政で深め、地域の人々の自信と誇りに繋げる先進的な取り組み。「農民文明の創生」こそが、全国の農村の再生につながる。
・バブル期にも大型開発を指向せず、長年農山村らしさを活かした観光交流を目指してきた。「農村文明塾」の活動も着実に形が整ってきている。大学コンソーシアムでは学位取得も可能となっている。行政コンソーシアムは今年度から新たに開講するなど着実に前進している。